第2次南河波定住自立圏共生ビジョン

災害支援部会 ご報告

阿南市危機管理部

災害支援部会 圏域における課題と対応策



〇 大規模災害支援体制の充実 大規模災害時における相互応援

東日本大震災を教訓として、近い将来、必ず発生するといわれる南海トラフ巨大地震や津波、あるいは、集中豪雨による大規模な土砂崩れ、洪水。火災が起こったときに、圏域でどのような支援体制が可能なのか、どのような備えが必要なのか検証して取り組みます。

~主な対応方策~

救急搬送体制の強化、ライフラインである水の供給など、より効率的な相互応援支援体制の強化を図る。

(オ)大規模災害支援体制の充実 大規模災害発生時における相互応援

【形成協定の内容】

取組内容	・救急搬送体制の強化、ライフラインである水の供給等、より効率的な応援支援体制の 強化を図る。
阿南市の役割	・阿南市の区域における救急搬送機能の強化及び圏域における相互応援に努める。
那賀町・美波町・ 牟岐町・海陽町 の 役 割	・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町の区域における救急搬送機能の強化及び圏域における相互応援に努める。

【具体的な取組内容】

\sim	
1	١
·)

事	業名	大規模災害時	大規模災害時の相互応援支援体制整備事業							
関	係 市 町	阿南市・那賀	阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町							
事	業概要	市町に対して なお、相互応	徳島県市町村消防相互応援協定に基づき、圏域内で発生した災害に対応が困難となった 市町に対して人的・物的支援を行う。 なお、相互応援体制強化のため、体制づくりについて検討・協議する。 救急搬送体制の強化については、今後、医療機関等との協議を重ねる。							
事	業効果		災害時における相互応援支援体制を構築することにより、圏域住民への安全・安心の確 保が図られる。							
役	割分担		(阿南市) 各種検討会等の企画運営・調整 (那賀町・美波町・牟岐町・海陽町) 各種検討会等の運営協力							
重	要業績	指	標	現	状 値 (調査時点	R) [目標値(達成年度)			
評	価 指 標 K P I)		広域応援計画 練実施回数		4回(令和2年	度)	4回(令和8年度)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	2			
事	業計画	検討・調整				\Longrightarrow	計			
事	業 費(千円)									
特	記事項	※新たな事業費が必要な場合は、毎年度の予算により定める。								



事	業	名	防災対策相互	支援基盤整備圖	事業							
関係	市	町	阿南市・那賀	阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町								
事業	概	要		災害時各避難所等における圏域市町の備蓄情報の共有及び資機材の共同整備等を行い、 より効果的・効率的な相互支援体制を構築する。								
事業	善 効	果	災害時におけ	災害時における相互支援基盤が強化され、圏域住民への安全・安心の確保が図られる。								
役 害	分	担		(阿南市)各避難所等における資機材等の整備及び情報の共有、整備計画の調整 (那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)各避難所等における資機材等の整備及び情報の共								
重要	業	績	指	標	現	状 値 (調査時点	目	標 値 (達成年度)				
評 個 (K		標)	合同防災訓	∥練の実施		2回(令和8年度)						
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	No.				
事業	計	- 画	資機材等整備				$\qquad \qquad \Rightarrow \qquad \qquad \\$	計				
事 (:	業千円)	費	5,963	5,963	5,513	5,513	5,513	28,465				
活用を補助	想定 制度		県補助金(とくしまぜ口作戦等)									
特記	事	項	※事業費は現時点における見込み額を記載しており、毎年度の予算により定める。									



0				75								
事	薄	AIIF	名	災害時水道復	夏旧相互応援体制	別の整備事業						
関	係	市	町	阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町								
事	業	概	要	災害時においる。	災害時において、ライフラインである水道復旧について 1 市 4 町での応援体制を確立する。							
事	業	効	果	災害時におけ	災害時におけるライフラインを早急に復旧することで、圏域住民の生活の安定を図る。							
役	割	分	担	MANUFACTURE OF THE PARTY OF THE	(阿南市) 各種検討会等の企画運営・調整 (那賀町・美波町・牟岐町・海陽町) 各種検討会等の企画運営協力							
重	要	業	績	指	標	現	状 値 (調査時点	Ē) [目標値 (達成年度)			
評 (指	標)		制のための 会等の開催	年	回 (令和2年	度)	年1回(令和8年度)			
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
事	業	計	+ 画				-	\Rightarrow	計			
事	第 (千	円)	費									
特	記	事	項	※新たな事業	費が必要な場合	合は、毎年度の	予算により定め	かる。	_			

①大規模災害時の相互応援支援体制整備事業(消防)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
検討・調整				

KPI 徳島県消防広域応援計画に基づく訓練実施回数 目標値:4回(令和8年度)

R5実績 11回

効果 目標を超える回数の訓練を実施し、圏域内の相互 応援体制の強化が図られた。

②防災対策相互支援基盤整備事業(防災)

1000	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	 資機材等整備				
	5,963千円	5,963千円	5,513千円	5,513千円	5,513千円

KPI 合同防災訓練の実施

目標值:2回(令和8年度)

R5実績 2回

効果 合同防災訓練を実施することで、圏域内の連携を 強化し、圏域住民の安全・安心の確保が図られた。

/※金額は事業費(計画)

③災害時水道復旧相互応援体制の整備事業(水道)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
検討・調整				

KPI 相互応援体制のための各種検討会の開催 目標値:年1回(令和8年度)

R5実績 1回

効果 災害支援部会を開催し、各市町の取組状況の確認や 意見交換を行い、相互応援体制の強化が図られた。 県消防広域応援計画に基づく訓練のようす





令和6年2月1日(木)徳島県南部健康運動公園を主会場に徳島県国民保護 共同実動訓練を実施。

X国が発射した弾道ミサイルが阿南市に落下。多数の死傷者が発生。防護服等着用し、初動措置の確認及び対応能力の向上を図る。

政府機関・地方公共団体(圏域4町含む。)・指定(地方)公共機関等が参加いたしました。

②防災対策相互支援基盤整備事業(防災)

阿南市総合防災訓練のようす









令和5年11月26日(日) 椿町中学校グラウンドを 主会場に実施

圏域4町の防災担当課長にご参加いただきました。

②防災対策相互支援基盤整備事業(防災)

資機材購入実績及び計画

	市町名	購入備品	R4(実績額)		R5(実績額)		R6(実績見込額)		R7(予定額)		R8(予定額)	
			個数	金額	個数	金額	個数	金額	個数	金額	個数	金額
	阿南市	マット	400	1,144,000	400	1,232,000	400	1,320,000	400	1,320,000	400	1,320,000
		タオルケット	200	880,000	200	946,000	200	990,000	200	990,000	200	990,000
A Part		ウォータータンク(大)	1	533,500	0	0	0	0	0	0	0	o
	那賀町	簡易トイレ(組立)	50	961,400	0	0	50	1,012,000	50	1,012,000	50	1,012,000
		トイレ処理セット(50回分)	50	247,500	50	247,500	50	248,000	50	248,000	50	248,000
	美波町	毛布	200	836,000	150	627,000	200	850,000	0	0	0	0
		タオルケット	0	0	0	0	0	0	200	1,000,000	200	1,000,000
	牟岐町	 発電機(ソーラーパネル付) 	1	297,000	2	298,760	2	300,000	2	300,000	2	300,000
		テント	0	0	0	0	50	2,500,000	50	2,500,000	0	0
	海陽町	パーティション	0	0	0	0	0	0	0	0	200	8,588,800
		マット	0	0	0	0	0	0	0	0	720.	上記に含む
		災害用トイレセット	0	0	0	0	10	2,750,000	0	0	0	0
		合 計	902	4,899,400	802	3,351,260	962	9,970,000	952	7,370,000	1822	13,458,800

7

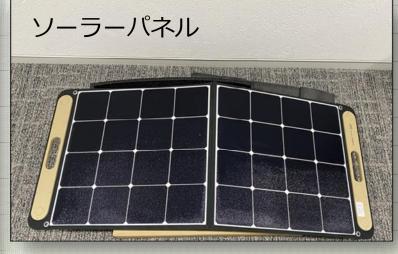
令和5年度 購入資機材













(参考) 従来計画における実績

③災害時水道復旧相互応援体制の整備事業(水道)

ウォーターバルーン・給水車の購入(H24~H28)

- ・給水車の購入(阿南市 H25年度)
- ・ウォーターバルーンの購入

(阿南市53セット・那賀町19セット・美波町15セット)

災害時相互応援体制の確立(H29~R8)





(第2次南阿波定住自立圏共生ビジョン: R4年度~8年度) 合同防災訓練(情報伝達・参集訓練)の実施を通じて、連携強化を図っている。 9

効果

一これまで、東日本大震災を教訓として、南海トラフ巨大地震や津波、集中豪雨による土砂災害や洪水、火災など、圏域内での支援体制の強化を図ってきた。

- 訓練や部会を開催による人的交流が図られ、連携強化につながった。
- ▶ 必要資機材を購入することで、圏域の相互応援体制の強化が図られた。

課題

本年1月に発生した令和6年能登半島地震を受けて、災害時の情報通信や道路等の移動経路の確保、避難所運営などの新たな課題が明らかとなり、徳島県においては、各種ワーキンググループが立ち上げられ、分野別に課題検討がなされている。

対応

今後は圏域市町の立地特性やそれぞれが抱える課題のほか、令和6年能登半島地震の教訓等を南阿波定住自立圏共生ビジョンを含む各種計画に反映させることで実効力を高め、必要な資機材整備や人材育成などを通じて連携を強化し、あらゆる災害に立ち向かうしなやかな体制を整えていく必要がある。